



社会福祉法人 新潟みずほ福祉会

(第5号)



地 域 運 動 会



発 行 新潟みずほ福祉会・三園家族会
所 在 地 〒950-2137 新潟市小見郷屋107番地2
T E L 025-262-0044
F A X 025-261-5483
ホームページ <http://www.niigatamizuho-fukusikai.jp>
Eメール niigatamzh-fukusikai@desu.ne.jp



「生命福祉」

新潟みずほ福祉会

副園長 坂木 俊雄

支援費制度に移行して四か月が経過する。いくつかの課題を積み残したままのスタートではあったが、関係各位のご理解とご努力のおかげで支障なく滑り出すことができたことに、まずは感謝している。

真にこの制度の理念「利用者本位」を育てていくためには、施設として経営体質の改善を始め、今までにも増したサービスの質の向上と徹底した人権擁護が求められる。施設関係者の「心の質」が問われるのである。

新潟みずほ園の初代園長・風間忠雄理事は、三十年前に「生命福

新潟みずほ福祉会 基本理念

- ※ 利用者一人ひとりの尊厳を守り、人権の保障に努めます。
- ※ 利用者の視点に立ち安心して利用できる質の高い福祉サービスの提供に努めます。
- ※ 地域に親しまれる安定した福祉の拠点作りと、豊かな社会福祉の実現に努めます。

祉」を提唱し、「家族、ボランティア、地域社会が一体となって創造する福祉、無限の可能性を信じ生命力が躍動する福祉の実践」の大切さを説かれた。その見識、哲学観に改めて頭がさがる。

利用者が選択するだけのサービスの量や情報の確保、マネジメントする機関や質の担保、介護保険への導入の議論等々、行政、経営者・職員はもとより、障害者自身や家族にとっても一層厳しい意識改革が求められそうである。

今、我々は、福祉の歴史を変える転換期の中に在る。次代の検証に耐え得る仕事をしよう。そんな気概を持って実践に努めたい。

ピンチはチャンス。人間の心は、孫悟空の如意棒のように伸縮自在なのだから。

納涼祭



平成十五年七月三十日、新潟みずほ園裏の駐車場にて、第2みずほ園と合同で納涼祭が開催されました。

当日は、利用者、職員を始めボランティアの方々にも御参加いただき、総勢一五〇名を超える盛大な行事になりました。

本年度は、今まで行っていた納涼祭の規模を縮小し、夕食を食べながら楽しい一時を過ごすことができました。

また、出店も地域の業者の方がたに御協力をいただき、焼き鳥、フランクフルト、鳥の唐揚げ、アイススクリームなどボリューム満点。途中雨に降られ予定していたカラオケが中止になりましたが、利用者から楽しかったよの声を聞き、雨の中後片付けの苦勞も報われる思いです。

この度の行事の開催にあたり御協力をいただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。



法人事務局のうごき



五月三十日理事会・評議員会が開催された。出席者は・理事八人・評議員十六人・監事二人であった。初めに、法人及び三園の経過報告がなされた。つづいて議題に入り、事務局長より十四年度より、一年先取りをした社会福祉法人会計を取り入れた旨の説明をし「平成十四年度事業報告及び決算認定について」及び「理事長専決事項について」が提案され、監事の監査報告として、資金収支計算書等について「不備の点はないと認めます」との報告があり、全会一致で可決されました。

その他の会議等

- 5月7日 福祉会幹部会議
- 21日 理事長決裁日
- 26日 決算監査
- 6月24日 理事長決裁日
- 30日 福祉会幹部会議
- 7月23日 理事長決裁日
- 31日 福祉会幹部会議

三園家族会合同
 * 研修交流会報告 *

恒例になった三園家族会役員研修交流会が七月六日(日)新潟市のクオリスを会場に行なわれた。各家族会々長・副会長・会計・園長・事務局を構成メンバーとして、今年十八名の出席で意見交換がなされた。

まず各園から、今年度予定されている事業のポイントについて説明された。また、昨年度の会議で出された提案事項の進捗状況に関して、

①家族会と事務局のあり方についてはお互いに協調してすすめていく②赤塚駅バリアフリー問題は、進んでいない現状である③高齢化・重度化への対応は家族会単位で動けない問題であることが確認された。

また、今後の法人の方向を検討するプロジェクトを立ち上げたことが法人本部から報告された。

契約制度にvari、利用料の請求等、事務量の増大を心配される意見もあったが、現時点ではこのま

まの形で継続していく方針が本部から示され、家族会でできることがあれば協力したいという声が多く上がった。

一時間という限られた時間の中の意見交換で、参加者各々の思いを充分に言い尽すことはできなかったであろうが、各園の抱えている問題や事情に触れ、あらためて家族と施設の連携の大切さを痛感した交流会であった。



みのり園家族会

ボランティア活動

去る五月二十五日、みのり園家族会の有志によるボランティア活動がおこなわれました。

この活動は昨年初の試みとして実施されたものですが、会員の皆様からも好評で、今年度は春・秋二回を予定しています。

第一回目のこの日は、雑布刺しや中野小屋地区体育祭用のゼッケン作り、ガラス拭き、草取り・花の苗植えを笑い声の絶えない明るい雰囲気の中おこなって頂きました。三十家族三十四名という家族会パワーが炸裂した二時間でした。

午後からは、職員九名も合流し、西川町「久思楼」で和気あいあいの懇親会が繰り広げられました。園の環境整備はもとより、日頃ゆっくり歓談する機会が少ない家族の方々や職員の交流が持てた有意義な一日でした。

第二回目のボランティア活動へとは心は早くも飛んでいる昨今です。

(みのり園 川村)

第2みずほ園家族会

会員宿泊・懇談会

会長 堀内多計司

六月二十九日午後より十五家族十八名参加されて環境整備が行なわれました。御協力ありがとうございました。

引き続き家族会の宿泊懇親会が十二家族十五名の参加で月岡温泉ひさご荘で開催されました。途中、新発田の宮澤恭子さんの御両親のご好意により、新築されたばかりのバリアフリー住宅を見学させていただきました。障害者の移動を考えて設計された造りで、参加された方達からも大きな関心をもって見学させていただきました。

ホテルに着き、温泉に入り肌はツルツル、若がえった所で宴会が始まり、歌に踊りに皆様方の芸人ぶりを見せていただき、大変和やかな中で参加者の親交を図る事が出来たのではないかと思います。このような家族会の楽しい面をPRして、第2みずほ園の行事に多くの方々が集まれる様に頑張りましょうと結束いたしました。

リレーエッセイ⑨

長岡の花火



橋本 光子

「どんとなった花火だきれいなあ」と歌っていた幼い日々は平穩でした。それから五十年。夜空を飾る花火の色彩、そしてその巨大さと頭上に響くごう音。そしてこれを楽しむ市民の多くが、長岡市街地を、信濃川土手を、長生橋から川下にかけて埋め尽くした。その雰囲気に息を呑みました。

案内していただいた棧敷は、長岡市長様方の川下隣席にて、花火を二時間真正面に対峙した、初めての体験でした。真下に信濃川の水の流れその速さには、めまいを感じさせる起伏があり大河の風景を実感した。又その対岸の民家の灯が川岸に添って横一直線にみえる。そこへ花火の煙が消えたり出たりする夜景は大型絵画の世界であった。特に感動した作品は幻想美たっぷりの長岡セゾンの菊花の大輪その星々にヒスイ、ルビー、ブ

ルーアメジストを思わせる透明度の高い宝石が夜空を飾った連発でした。

三尺玉のダンダンが地響きがあり頭上の空気の重さを感じさせた。また、後半の九十七連発の勇壮さは三本柱から次々に菊花が開きその何百本もの金鎖状が水面に達するさまは壮大で地球を包み切る様な感動でした。いつの日かみずほの皆さんと一緒に楽しみたい花火であった事を強く伝えたい。

今、朝のテレビドラマ「こころ」に花火の仕事をする人が出ていますが仕事に取り組む真剣さ、美の追求の積み重ねが素晴らしい成果となって多くの人に喜びを贈る。

動物の世界では人間だけが道具を使い高度の技を作り出す脳がそなわっているのです、どんな逆境におかれても、「なせばなる何事も」の諺の様に自分の出来ることはと常に考え続けて道具を使いこなし切る事が、満足感にひたる事ができるでしょう。

今夜の花火は、市民の皆様と共にとても心豊かな夜に恵まれました。花火に見え隠れしていた三ヶ月が中空に浮いていました。「月ここにあり」と主張しているこの姿に感謝して「よい」ツキのある事を祈りたい。

オセロ交流会
祝V2

七月二日、ふれ愛プラザで開催された新潟県身体障害者施設協議会オセロ交流会(下越地区)で、新潟みずほ園が見事V2を達成しました。

七療護施設から九チームが参加し、トーナメント形式でチーム戦が行われました。今年是一回戦から参加。一回戦は、かたくりの里を5-0、二回戦は、身体障害者更生指導所を3-2で敗り、決勝に進出しました。決勝の相手は、昨年と同じ宝珠苑でしたが、4-1で相手の挑戦を退け、V2を達成しました。『新潟みずほ園ここにあり』を示す交流会となりました。

帰園後、夕食時に利用者全員に飲み物が配られ、二年連続の祝杯をあげました。



私のおすすめ一品料理



夏バテ予防

『ごはん楽しんで楽しい食事と健康を。自然の恵や四季の変化を、楽しみましょう。』

オクラ、納豆、モロヘイヤ。暑さで食欲がないときも、のど越しよく食べられるスタミナ素材。

ごはんにかけて、ささっと食べられる、ネバネバメニューで、この夏はパワーアップ!

〈納豆パワーの秘密〉

混ぜれば混ぜるほど、活性化する納豆菌の酵素、ナットウキナーゼがタンパク質を分解するので消化を促進し、血栓予防に効果があることで注目されている。骨粗しょう症の予防効果も見逃せません。

夏野菜のしょうゆ和え

材料(4人前)

- エネルギー (55kcal 1人前) 塩分1.4g
- 納豆.....2パック(80g)
- ナス.....小1本(70g)
- キュウリ.....1本
- ミョウガ.....2個
- シヨウガ.....½かけ
- 塩しょうゆ七味トウガラシ

作り方

- ① ナスは5mm角に切り、塩小さじ1杯を入れた水1カップに5分つけ、水気を絞る。
- ② キュウリも5mm角に切り、ミョウガは粗みじん切りにし、シヨウガはみじん切りにする。
- ③ ①②を納豆としょうゆ大さじ2杯で和え、七味トウガラシを少々ふる。

みずほのあしあと

5/25 自治会茶話会

みんなでお菓子を食ながらカラオケを楽しみました♪



5/13 岩船地域広域物産振興協会慰問

餅つきを楽しみ、新茶と一緒においしくいただきました。TVインタビューされてドキドキ!



7/7 七夕

笹にみんなで作った飾りをつけ短冊に願いごと...



6/4 屋外昼食会バーベキュー

外の空気を吸いながら、おいしいお肉をいただきます。



7/30 納涼祭



7/24 耳鼻科検診



7/16 歯科検診



新潟みずほ園

〒950-2137 TEL 025 (262) 0044
 新潟市小見郷屋107-2 FAX 025 (261) 5483
 URL <http://www.aa.alpha-net.ne.jp/mizuhoen>
 Eメールアドレス mizuhoen@m20.alpha-net.ne.jp



(一)結婚
 六月七日、佐々木介護員が結婚され、嵐山さんになりました。おめでとうございました。

みずほ職員動向

ペンリリー 第四回

『よろしく願っています。』

岩野真衣

昨年の十二月より、みのり園で臨時職員としてお世話になっていきます。軽く自己紹介をさせて頂きますと、私は新潟市の内野出身、踊ることが大好きな二十二歳です。

私は、三年程前みのり園に実習生としてお世話になったことがありますが、私はみのり園のあたたかい雰囲気と、私が職員として来てからもその雰囲気に全く変わってなくて、再びみのり園に来れたこと、皆さんに会えたことをとても嬉しく思っています。

私達が普段生活している中で偶然だなと感じることは多々ありますが、実は「偶然」というのは存在しないのだそうで、この世の中で起こる出来事には全て何かの縁があるのだそうです。三年前、実習生としてみのり園の皆さんと出会えた私が、こうして再び皆さんと同じ時間を過ごしているのにはきっと何か大きな意味があるのでしよう。皆さんとの縁を大切に、これからも笑顔で頑張っていこうと思っっています。よろしく願っています。

致します。
次回は、生活支援課の鍋谷さん
願っています。

ミュージックセラピー

みのり園で行なっているミュージックセラピーは、音楽という特性を生かし、心身に快い刺激を与え、楽しい時間を過ごすという目的を目的としています。音楽に合わせて体を動かす、人と楽しみながら共感することで、コミュニケーションの促進、自己表現力の育成を図ります。

実施している内容は主に、サテンプラシユートのフワフワ感で心身に刺激を与えるものや、バチで軽快なテンポの曲で床を叩く、皆で輪になり簡単なステップを踏みながら踊る等しています。対象者



に合わせて即興的な部分もあります。全体の流れを組み立て、「動」と「静」のバランスをとりながら、楽しい時間を共有し、それぞれに達成感や充実感が味わえるような場面づくりを目指しています。

山田さんの退院にあたって

六月十日、山田保さんが新潟中央病院を退院しました。

去る五月二十三日の夜、園内で転倒し、緊急入院となり、左大腿部頸部骨折の診断で、手術・治療を行っておりました。幸い、その後の経過もよく退院することができましたが、園では歩行不可能で車椅子を使用しなければならぬ状態でした。しかし、みのり園職員の多くは身体の不自由な方に対する介護の知識・技術が不足していますので、ほとんどの職員は不安に駆られていましたが、介護用品の借用も含め、隣接している身体障害者療護施設の協力を得ることができ、特に大きな問題もなく、山田さんを受け入れることができました。あらためて複数施設のメリットを再認識することができました。

また、今年度に早々に、居住棟・中央指導員室のドア改修と浴室・

みのり園

〒950-2138
新潟県新潟市藤野木51番地
電話 025-262-0075 FAX 025-262-1439

ホームページ
<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/minorien/>
Eメール minorien@m21.alpha-net.ne.jp

脱衣場のバリアフリー化工事を行っており、車椅子でも移動しやすい環境になりました。今後、入所されている方ばかりではなく、ショートステイやデイサービスで利用される方が増えていくと思いますが、どのような方でも、みのり園で対応できるように考えていきたいと思っ



元気に
なりました



先日、みのり園のレクリエーション交流会に参加させていただき、私たちは楽しい一時を過ごすことができました。みのり園〇×クイズでは、かなりの難問にもかかわらず新大生が優勝してしまうというハプニングもありつつ、また、綱引きや去年もやったコーヒータムなどで園の方々とは交流することができ、私たちにとってはとても貴重な経験となりました。音楽面では、園の方々に楽しんでもらえるような演奏をしようと日々練習してきましたが、園の方々は音楽に対する反応がとても素直で、演奏中も歌や踊りにととても楽しんでいただけたようでした。今後も、そのような演奏を目指していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

新大吹奏楽部 木下 潤



6/22 レクリエーション交流会



調理(やさい切り)担当



7/23 収穫祭



収穫担当

利用者には、真柄に、福祉財団より助成を受け、ビデオ内臓テレビを設置しました。



利用者には余暇を楽しく、また、心豊かな気持と情緒安定のため、ビデオ内臓テレビをいただきました

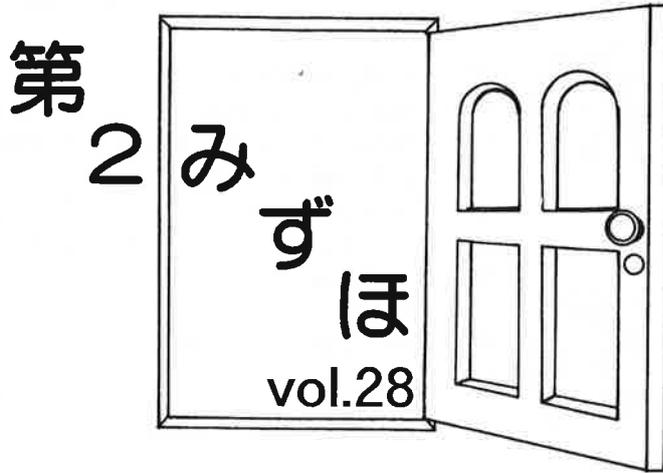
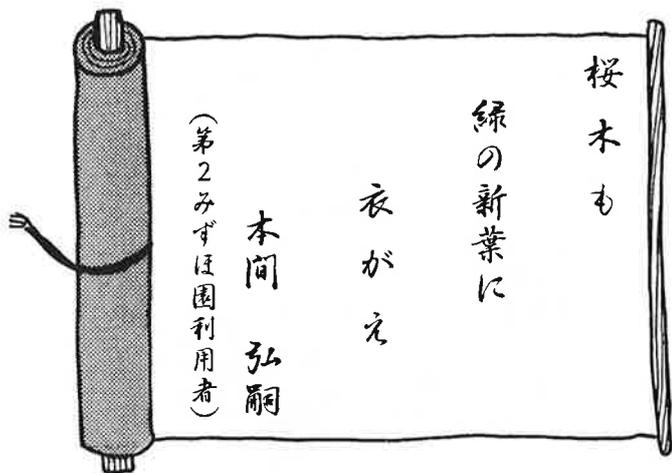
新潟県共同募金の配分を受け実施しました。



利用者が安全に入浴できるように、脱衣場及び浴室内の段差を解消し、浴室タイルを滑りにくい材質のものとし、便所を洋式に改修する工事を、

新潟県共同募金の配分を受け実施しました。

浴室・脱衣場を改修しました



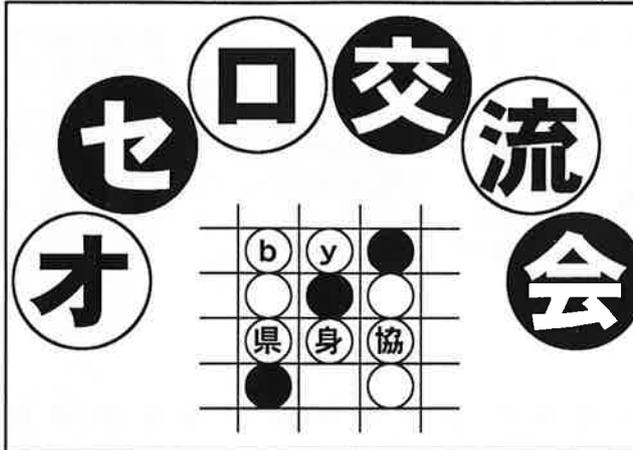
6月4日第2みずほ園の庭にて三者交流会が行われました。天候にも恵まれ青空の下でのバーベキュー♥外での食事は室内と違ってひと味もふた味もおいしく感じました。お腹を満たした後は利用者・保護者・職員くじ引きでペアを組んでのカラオケ大会♪自分がいつ当たるかドキ★ドキして気が気でない状態の人も…!? 親睦も深まり、ちよっぴり日焼けもした、楽しい一日でした。





七夕交流

With 保古野木保育園



Tの試・写・室

今回の映画は、「ニューシネマパラダイス」

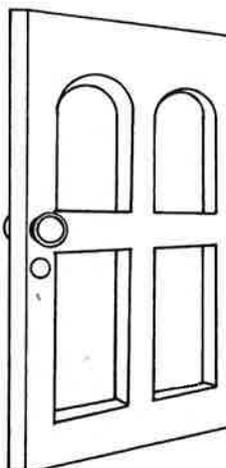
映画が娯楽の王様、そして映画館が一番輝いていた頃の物語。

シチリアのひとつの映画館を舞台に、映写技師と、少年トト（青年へと成長していく）の交流を軸に、映画館「パラダイス座」に集まってくる人々と、時の流れが切なく哀歎をこめて語られていく。

ひとつの場所にとどまって、老いていくだけの映写技師、かたや、未来へ、可能性をいっぱい抱えた若者トト。思い迷っているトトを、「ここに、とどまっていますはいけない。ここが、お前のいる場所じゃないんだ」背を押すように送り出す映写技師。

エンニオモリコーネの音楽が、深く心を揺さぶる。

そして、ラストシーンの、上手さ。思わず、ぐっとときちやうんだよね。監督、ジュゼッペトルナトーレ。



所在地
〒950-2137
新潟市小見郷屋58番地4
T E L
025-261-2211
F A X
025-261-5502
ホームページ
<http://www4.ocn.ne.jp/~dai2mzh/>
Eメール
dai2mzh@blue.ocn.ne.jp



だいろの会 & 藤見会

艶やかなり…

《職員動向》

(退 職) 五月十日付
 佐藤 浩司 みのり園(生活支援員)
 (新規採用) 五月十九日付
 鍋谷 信博 みのり園(臨時)
 (新規採用) 七月一日付
 佐藤 敦子 新潟みずほ園(看護師)
 伊藤結希子 第2みずほ園(臨時)

御寄附

ありがとうございました

フロリダ州政府柑橘局

代表 小野エミール

椎谷 勉 様

泉 ハルミ 様

高橋 修三 様

泉井 太 様

アスカ商事(株) 様

小熊 清一 様

吉川 玲子 様

九重園 様

ボランティア・慰問

桜井喜美子 様

西田 久 様

小俣 静江 様

舟山 功 様

島倉 菊江 様

白石 孝 様

鈴木 瑞苑 様

五十嵐朱美 様

齋藤 徳子 様

小林 久幸 様

山田恵理子 様

中村 美紀 様

伊原 良子 様

長尾 理容 様

すずらん美容 様

だいろの会 様

藤 見 会 様

保古野木保育園 様

小瀬小学校 様

アップルスポートカレッジ 様

古俣 麗香 様

武石佳奈江 様

小林 澄子 様

野口 宏子 様

佐藤 江梨 様

野瀬 華織 様

新潟大学吹奏楽部 様

三浦 厚志 様

明和会(小見郷屋・道河原・早潟 様

勤助郷屋・藤野木・小瀬・田島 様

金巻・曾和・槇尾) 様

老人会婦人部(小見郷屋・道河原 様

勤助郷屋・藤野木・小瀬・早潟 様

大友・田潟) 様

県友会(飯田・鈴木・小池・大嶋 様

大塩・松井・小嶋・白石・永井紘 様

永井宏) 様

コザカイ理容所 様

美容室フラワー 様

佐藤 俊司 様

上原 正吾 様

岩船地域広域物産振興協会 様

歯科診療室からの お知らせ

お知らせ

4月30日 後藤基誉先生勤務

5月21日 島田 出先生退任

以上のように、異動がありました。

食中毒予防



毎年、梅雨入りから秋頃までは全国各地で食中毒が多発しております。食中毒予防の基本は、
 ①手指及び調理器具類の洗浄・消毒
 ②適切な加熱処理
 ③速やかな喫食の三点です。

食中毒を引き起こす原因となる細菌類が最も過ごしやすくなるこの時期、各園の厨房では食中毒予防強化月間として、利用者の皆様

に安心して日々の食事をしていただけするように、より一層衛生管理に気を配り調理業務に当たっております。

皆様も飲食前の手洗いと、生物は必ず冷蔵庫で保管して期限内に食べるといことを心掛けていただきたいと思います。

「医食同源」という言葉に示されているように、毎日の食事は日々の健康づくりの基本ですから食欲が低下する夏場も、しっかり食べて体力維持に努めて下さい。

編集後記

あっちから、こっちから、くるくると、まるでブルーメランのように、乱れ飛ぶ青い座布団。

決まり手は、…ん?! 反則負け名古屋が、熱い。

(横綱、朝青龍、途中休場、前頭二枚目、旭鷲山4勝11敗)

さて、来場所は、どんな決着をみせてくれるのか。

両国国技館に、高らかな呼び出しの声。スリリングに動く、行司の軍配。

二人の取組みから、目が離せない。